

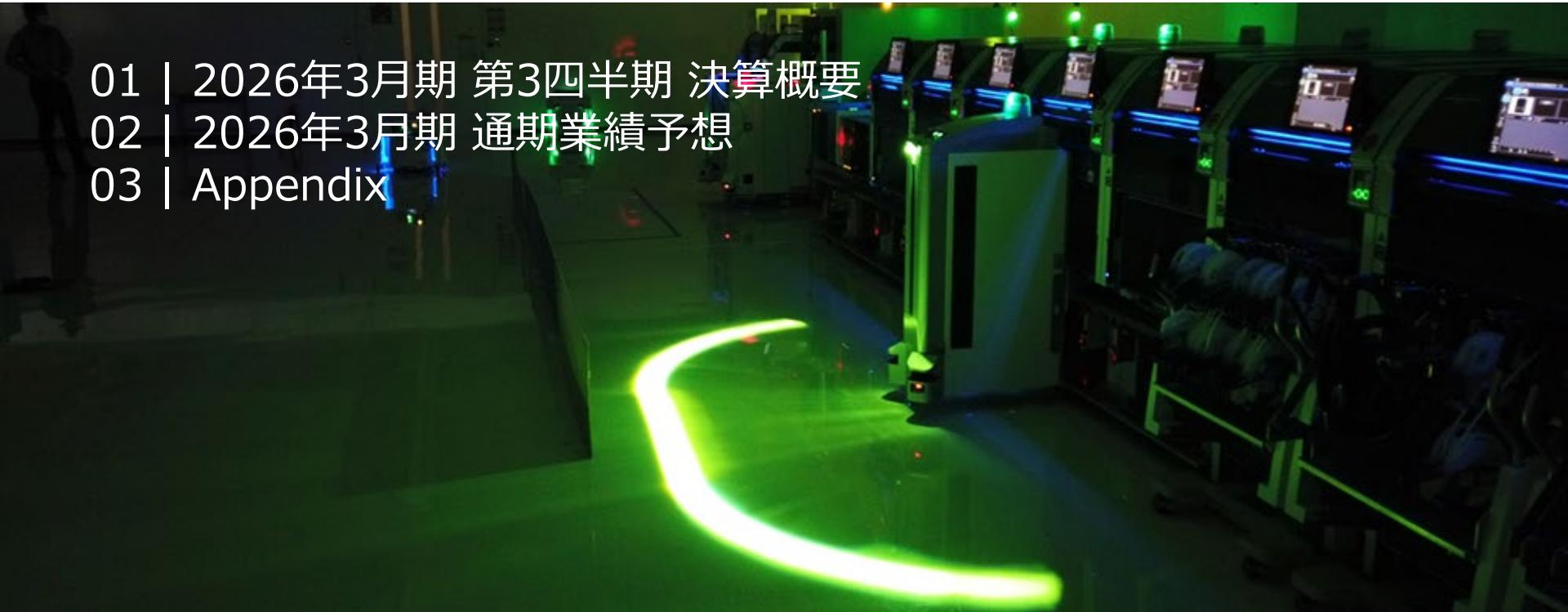
# 2026年3月期 第3四半期 株式会社 FUJI 決算説明資料

2026年2月 | 東証プライム・名証プレミア 証券コード：6134

本資料に含まれる全ての内容の著作権は当社に帰属します。当社の許可無く、掲載内容の一部またはすべてを複製、転載する事を禁止します。

# 目次

- 01 | 2026年3月期 第3四半期 決算概要
- 02 | 2026年3月期 通期業績予想
- 03 | Appendix



01 | 2026年3月期 第3四半期 決算概要



# 2026年3月期 第3四半期 業績

- 売上高・利益が四半期業績としていずれも過去最高
- 主力機種NXTRが利益率向上に貢献

	2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	(百万円)	
			増減額	増減率
受注高	83,293	143,283	+59,989	+72.0%
売上高	93,565	127,291	+33,725	+36.0%
営業利益	9,788	18,847	+9,059	+92.5%
経常利益	11,174	20,079	+8,904	+79.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,449	16,072	+7,622	+90.2%

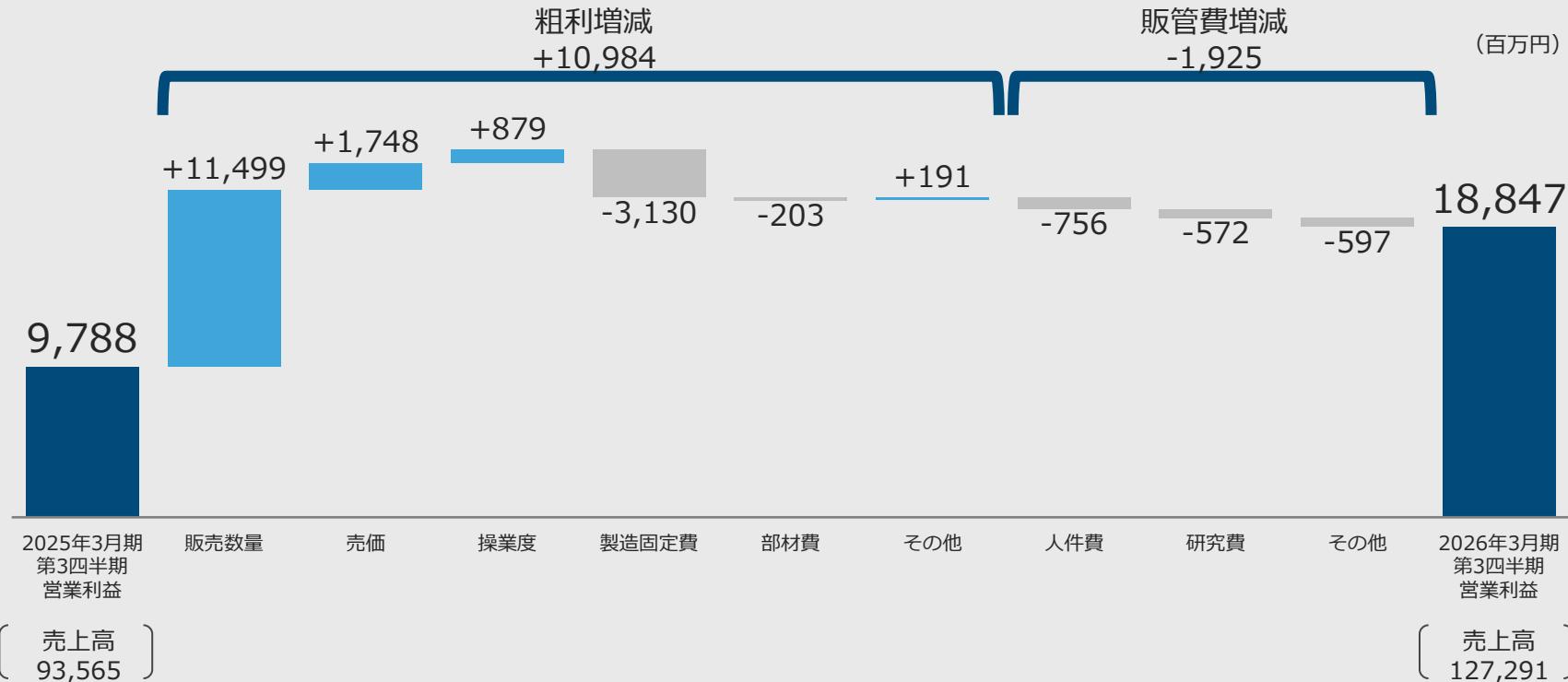
  

	受注高	143,283	売上高	
			Q4	127,059
116,209	123,888	■ Q4	127,387	
31,187	40,594	■ Q3	31,391	
28,954	32,755	■ Q2	33,110	
28,437	25,760	■ Q1	29,503	
27,630	24,777		33,054	

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2024年3月期		
				2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期
2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	

# 営業利益増減分析



# B/Sサマリー

- 受取手形及び売掛金・棚卸資産の増加、現金及び預金の減少により、資産合計は +23,603百万円
- 支払手形及び買掛金・未払法人税等・預り金の増加により、負債合計は +12,061百万円
- 利益剰余金の増加により、純資産合計は +11,541百万円

(百万円)

	2025年3月31日	2025年12月31日	対前期増減額	増減要因など
流動資産	155,427	178,853	+23,426	受取手形及び売掛金 +27,217 棚卸資産 +6,888 現金及び預金 -11,779
固定資産	88,862	89,038	+176	
資産合計	244,289	267,892	+23,603	
流動負債	22,256	34,500	+12,243	支払手形及び買掛金 +5,491 未払法人税等 +3,270 預り金 +2,475
固定負債	3,350	3,168	-182	
負債合計	25,606	37,668	+12,061	
純資産合計	218,682	230,224	+11,541	利益剰余金 +8,996 為替換算調整勘定 +3,165
負債純資産合計	244,289	267,892	+23,603	

# □ ロボットソリューション事業 業績

- 受注高・売上高はセグメント別第3四半期業績としていずれも過去最高
- 汎用メモリ市場の回復によりファスフォードテクノロジの受注高が伸長

	2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	74,292	135,317	+61,025	+82.1%
売上高	84,307	118,562	+34,254	+40.6%
営業利益	11,870	21,936	+10,065	+84.8%
受注残高	24,520	50,001	+25,480	+103.9%

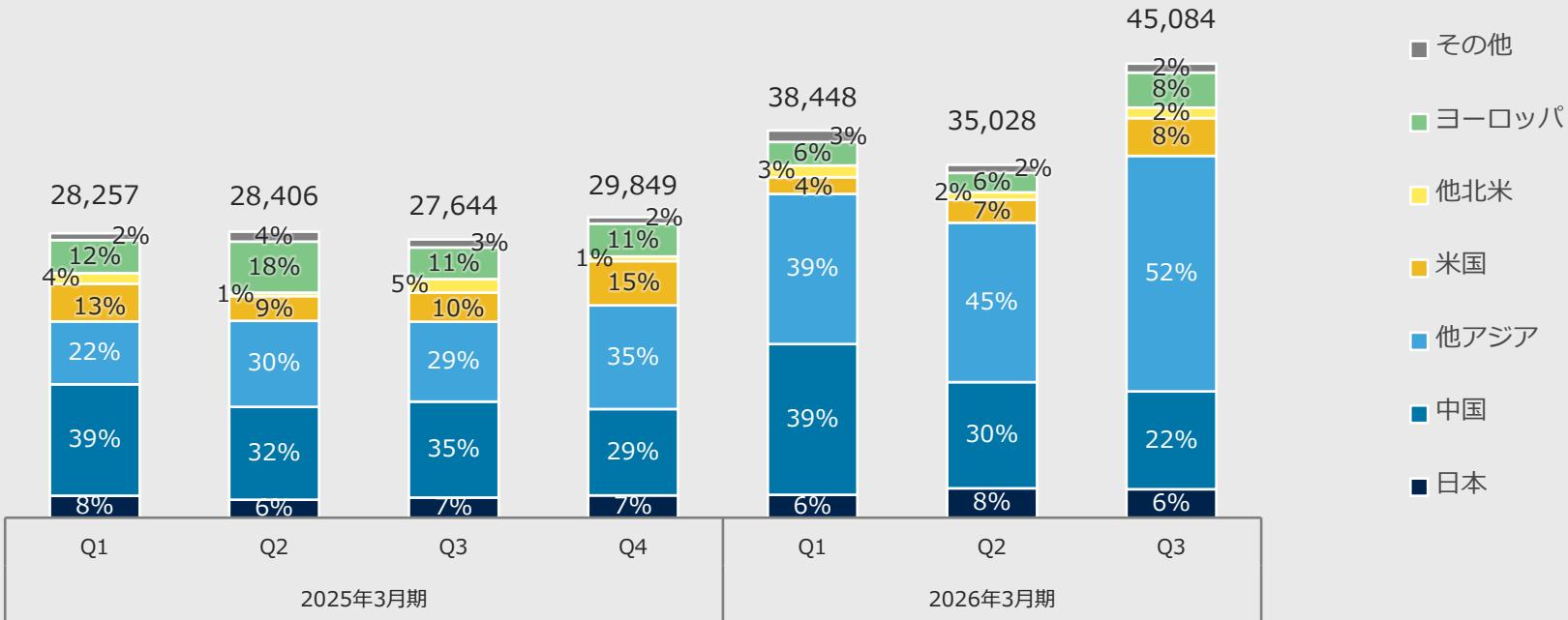


# □ ロボットソリューション事業 地域別売上高

QoQ

- 他アジア：生産拠点多角化の動きが継続。特にタイにおいてAIサーバー関連の伸びが顕著
- 中国：通信・車載向け需要に一服感

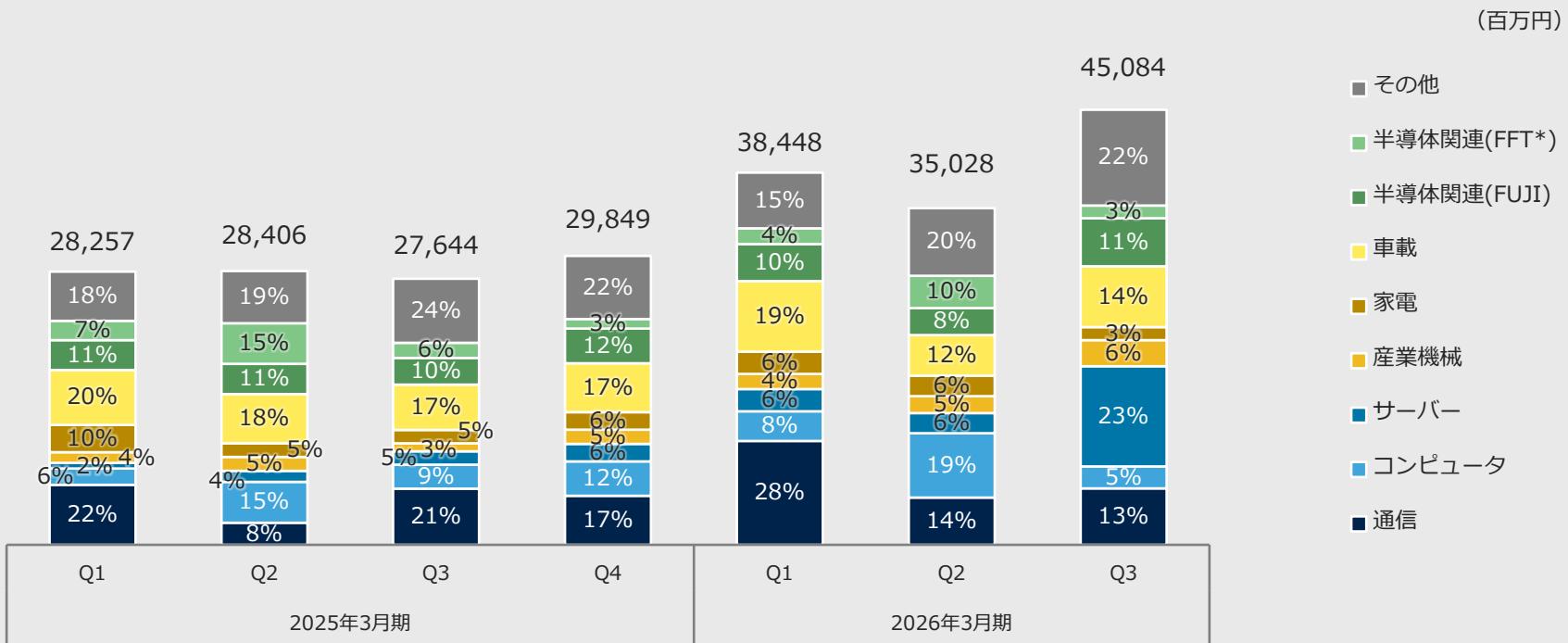
(百万円)



# □ロボットソリューション事業 業種別売上高

QoQ

- サーバー：タイ、インドにおいて大型案件あり
- その他：タイにおいてサーバー用電源向け需要が継続

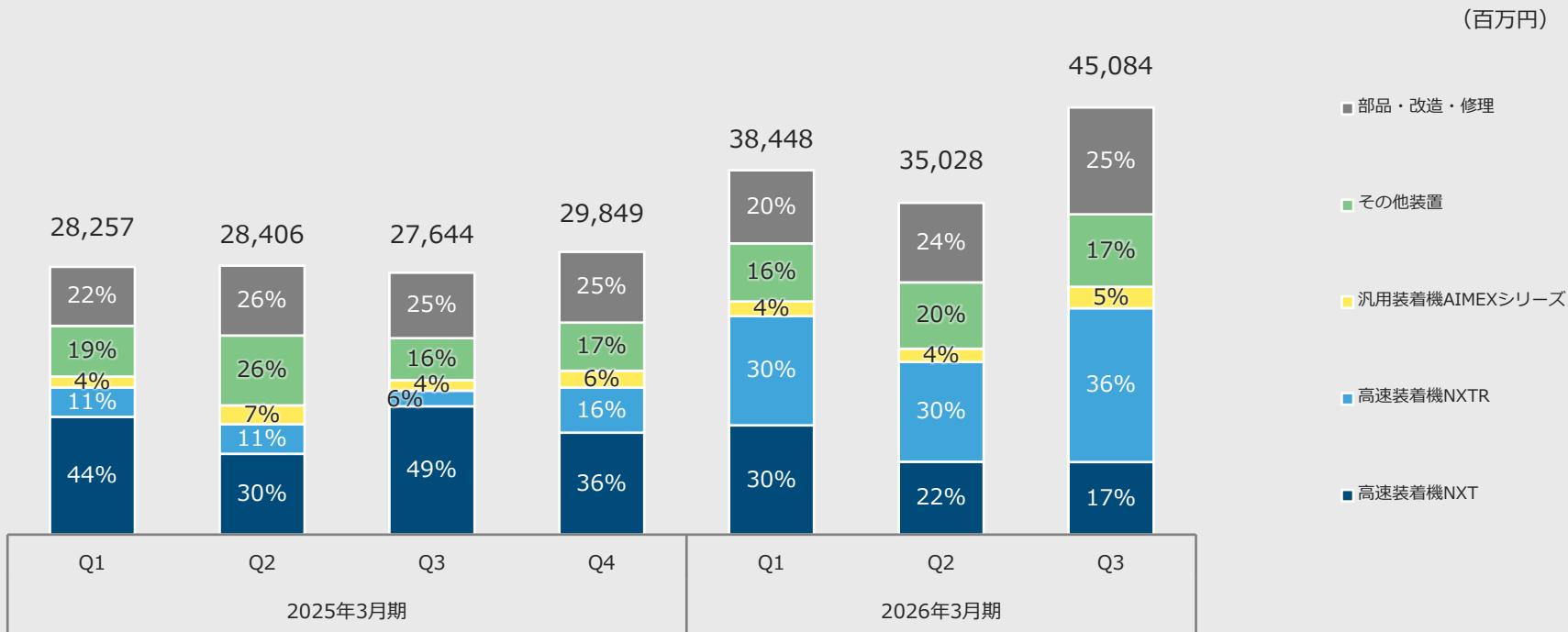


\* FFT : ファスフォードテクノロジ

# □ ロボットソリューション事業 機種別売上高

QoQ

- NXTからNXTRへの機種切替が加速





# マシンツール事業 業績

## ■ 自動車向け設備投資需要が低調に推移

	2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	(百万円)	
			増減額	増減率
受注高	7,273	6,252	-1,020	-14.0%
売上高	7,641	7,276	-365	-4.8%
営業利益	339	160	-178	-52.6%
受注残高	6,650	3,801	-2,848	-42.8%



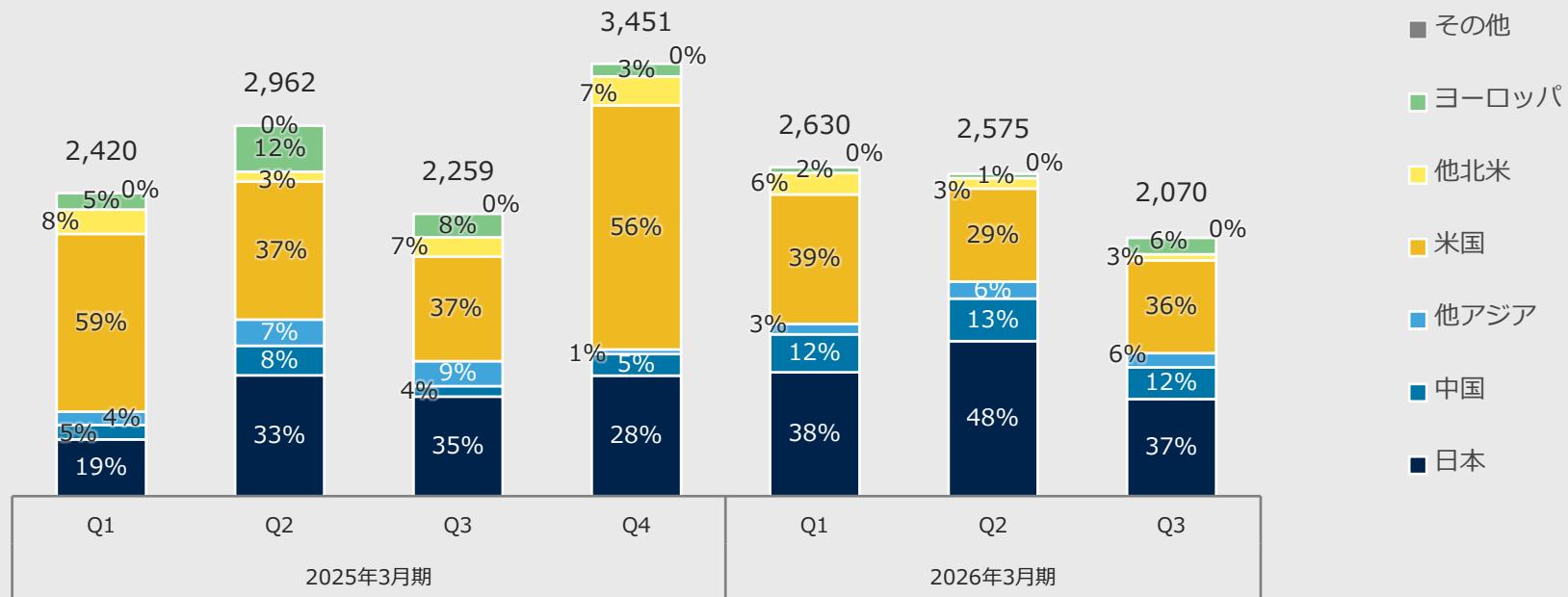


# マシンツール事業 地域別売上高

QoQ

- 全地域において設備需要が低調に推移

(百万円)



# 02 | 2026年3月期 通期業績予想



# 業績予想

- AIサーバーの継続的な需要に加え、メモリ市場の回復に伴い、通期予想を上方修正

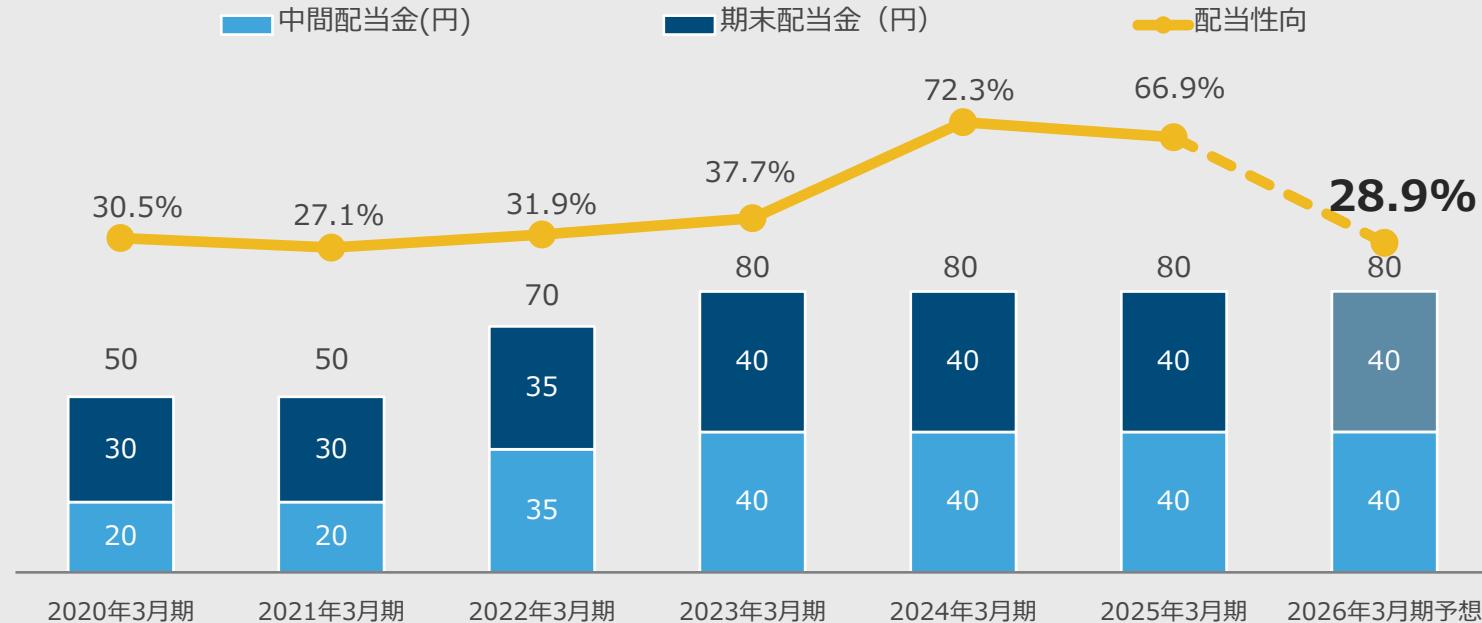
		2026年3月期通期予想				
	2025年3月期 通期実績	2025年11月7日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
				増減額	増減率	
受注高	123,888	169,000	193,000	+69,111	+55.8%	+24,000
売上高	127,387	165,000	183,000	+55,612	+43.7%	+18,000
営業利益	13,781	22,000	30,600	+16,818	+122.0%	+8,600
営業利益率	10.8%	13.3%	16.7%	—	—	—
経常利益	15,328	22,800	31,700	+16,371	+106.8%	+8,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,906	17,600	24,400	+13,493	+123.7%	+6,800
設備投資額	14,801	12,600	12,200	-2,601	-17.6%	-400
減価償却費	9,073	9,300	9,300	+226	+2.5%	±0
研究開発費	7,727	8,500	8,400	+672	+8.7%	-100

# セグメント別 受注・売上通期予想

(百万円)

		2025年3月期 通期実績	2025年11月7日 公表予想	2026年3月期通期予想			
				今回予想	対前期実績		対従来予想
					増減額	増減率	増減額
 ロボットソリューション事業	受注高	112,868	157,000	182,500	+69,631	+61.7%	+25,500
	売上高	114,157	153,000	171,000	+56,842	+49.8%	+18,000
	受注残	33,246	37,246	44,746	+11,500	+34.6%	+7,500
 マシンツール事業	受注高	8,900	10,000	8,500	-400	-4.5%	-1,500
	売上高	11,093	10,000	10,000	-1,093	-9.9%	±0
	受注残	4,825	4,825	3,325	-1,500	-31.1%	-1,500
 その他事業	受注高	2,120	2,000	2,000	-120	-5.7%	±0
	売上高	2,136	2,000	2,000	-136	-6.4%	±0
	受注残	273	273	273	±0	-	±0
合計	受注高	123,888	169,000	193,000	+69,111	+55.8%	+24,000
	売上高	127,387	165,000	183,000	+55,612	+43.7%	+18,000
	受注残	38,346	42,346	48,346	+10,000	+26.1%	+6,000

# 配当金



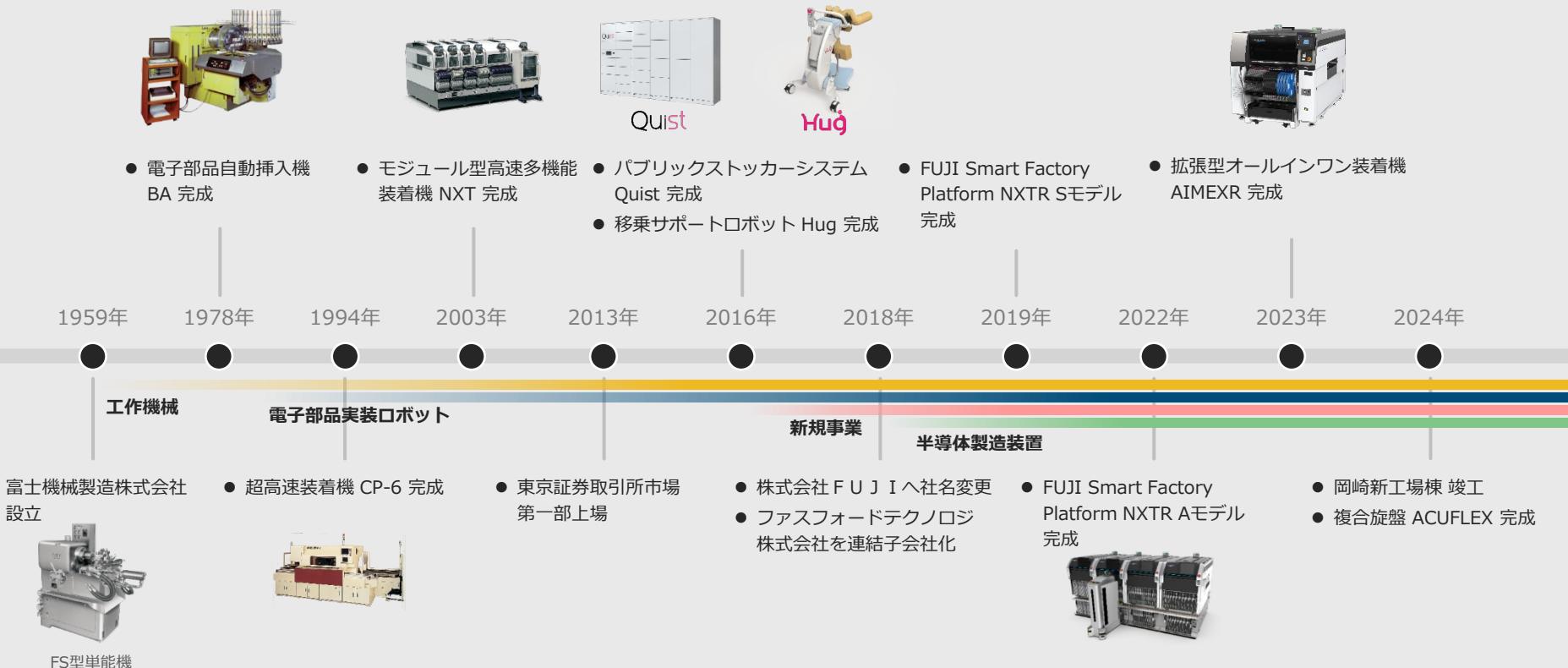
# 03 | Appendix



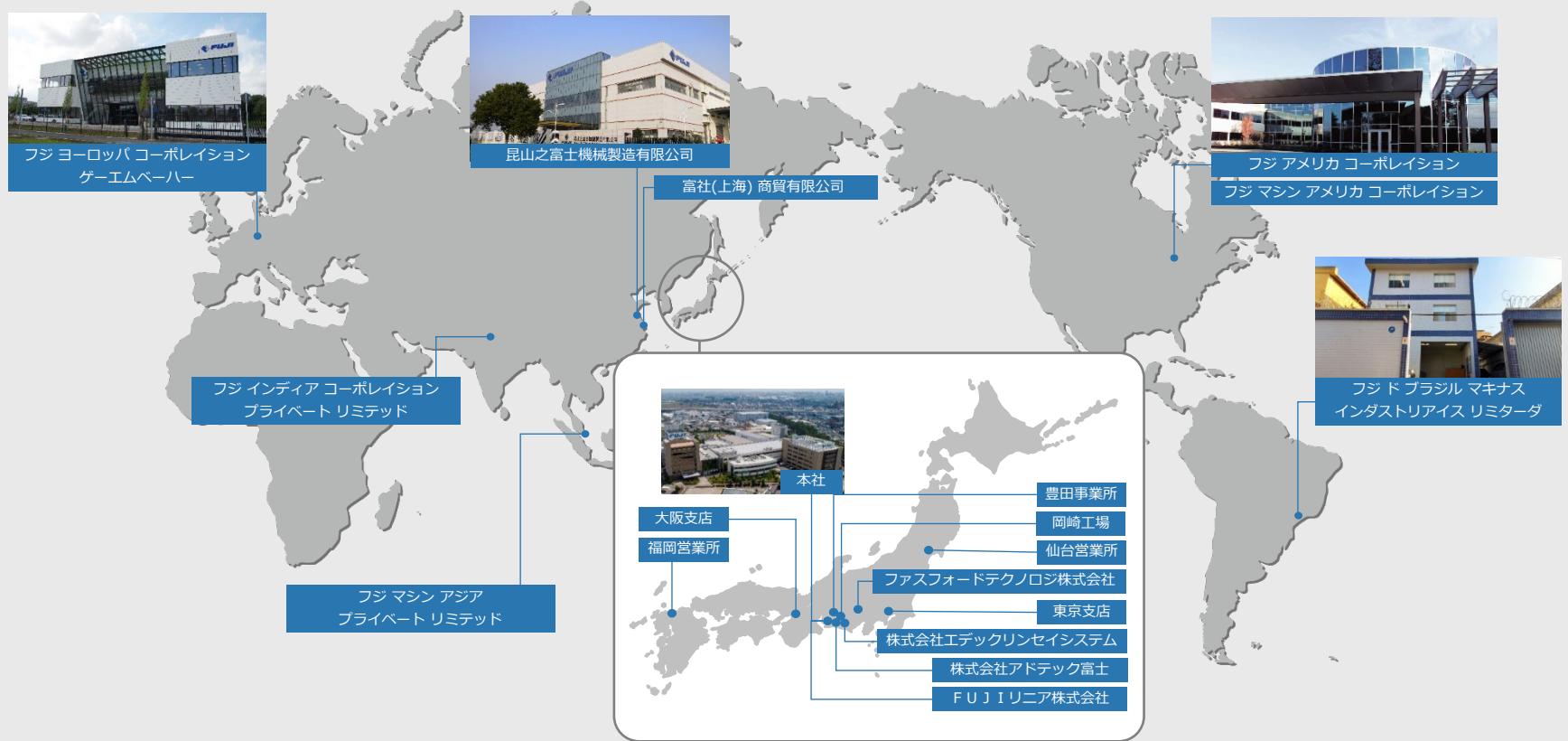
# 会社概要

会社名	株式会社 FUJI (旧社名 富士機械製造株式会社)
創業	1959年4月
本社所在地	愛知県知立市山町茶碓山19番地
代表者	代表取締役社長 五十嵐 丈二
資本金	5,878百万円 (2025年3月末現在)
売上高	127,387百万円 (連結、2025年3月期)
従業員数	2,976名 (連結、2025年3月末現在)
主要製品	電子部品実装ロボット（マウンター）、工作機械、半導体製造装置
上場株式市場	名古屋証券取引所 プレミア市場 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：6134)

# 沿革

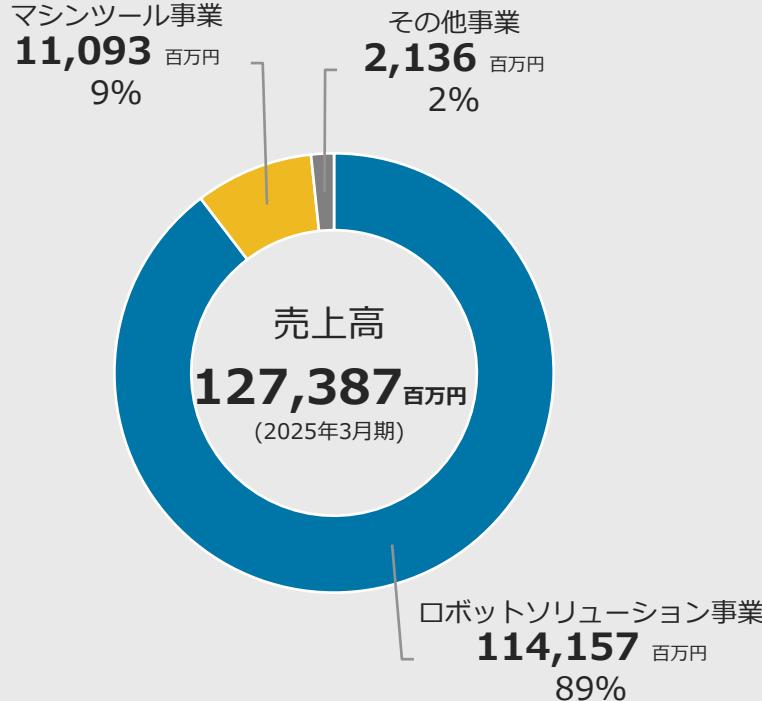


## 国内外抛点



# 事業概要

ロボットソリューション事業が9割を占める



### ロボットソリューション事業

電子部品 実装ロボット (マウンター)	NXTR FUJI Smart Factory Platform
半導体製造装置 (ダイボンダ)	FASFORD TECHNOLOGY DB850シリーズ DB820
ライフサポート	Huq 移乗サポートロボット Quist パブリックストッカーシステム
マシンツール事業	
工作機械 (旋盤)	正面2スピンドル旋盤 CS SERIES 対向2スピンドル旋盤 ANW III SERIES

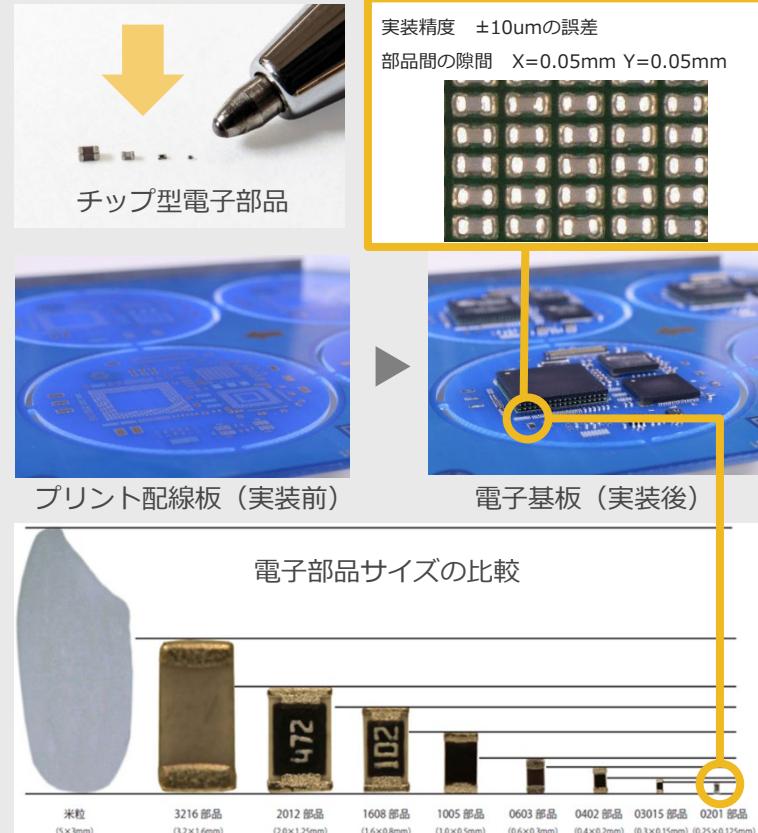
# マウンターとは

- 表面実装技術 = Surface Mount Technology (SMT)
  - …電子部品をプリント配線板の上に正確に並べる
- マウンター = (表面) 実装する機械
- 最小で $0.25\text{mm} \times 0.125\text{mm}$ の部品を高速・正確に実装
- FUJIのマウンターは極小部品を1秒間に16個並べることができる

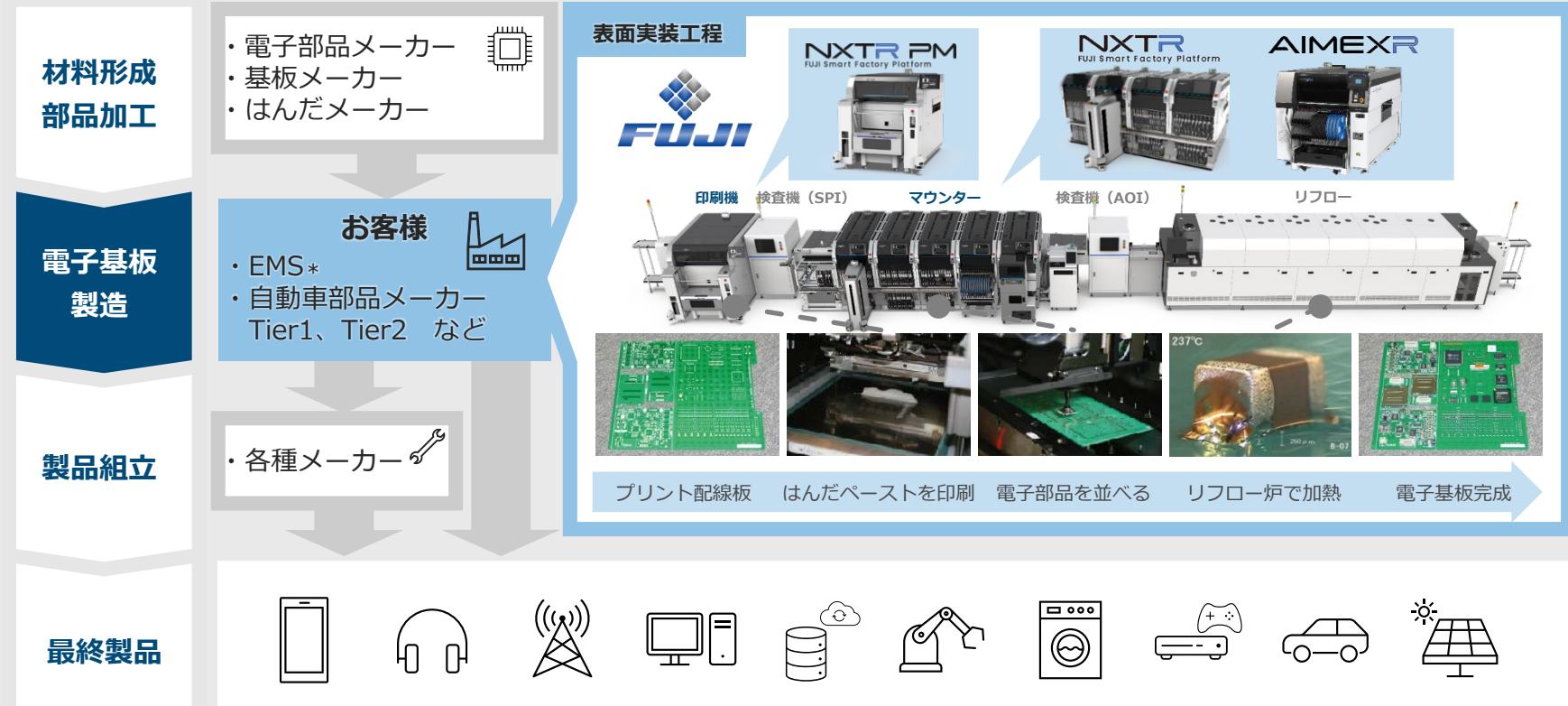
マウンター「NXTR」



NXTR



# 電子製品製造におけるFUJIのかかわり



\* EMS : Electronics manufacturing serviceの略称で、他社の製品の製造を請け負う企業・サービスのこと。

# FUJIの強み

## ■技術力

- ・モーター、サーボ、画像処理などのコア技術を全て自社開発



## ■モジュールコンセプトに代表される独創的な製品開発

- ・国内外特許登録件数 7,000件以上 (2025年3月末時点)

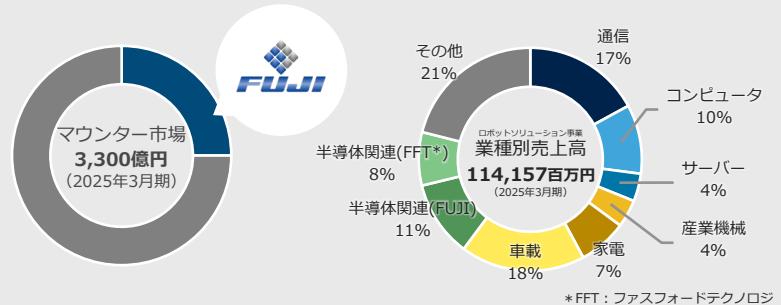
### ・受賞歴

- 2014年 「第6回ロボット大賞 経済産業大臣賞」
- 2016年 平成28年度全国発明表彰「文部科学大臣賞」
- 2018年 第50回市村産業賞「功績賞」



## ■世界シェア: トップクラス

- ・幅広い業界・業種の顧客層

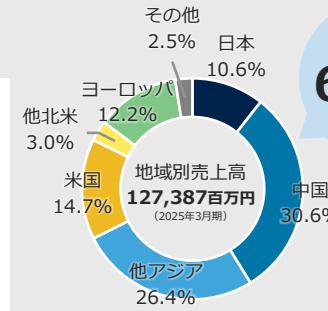


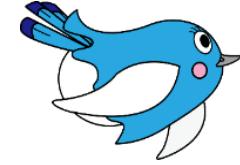
## ■世界中のセールス・サービスネットワーク

- ・各地域のお客様に寄り添い生産をサポート



累計出荷国  
**60**カ国以上





### 【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点での入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

### 【IRに関するお問い合わせ】

株式会社 FUJI 経営企画部 IR担当

E-mail : [irsr@fuji.co.jp](mailto:irsr@fuji.co.jp)

Webサイト : <https://www.fuji.co.jp/ir/>

